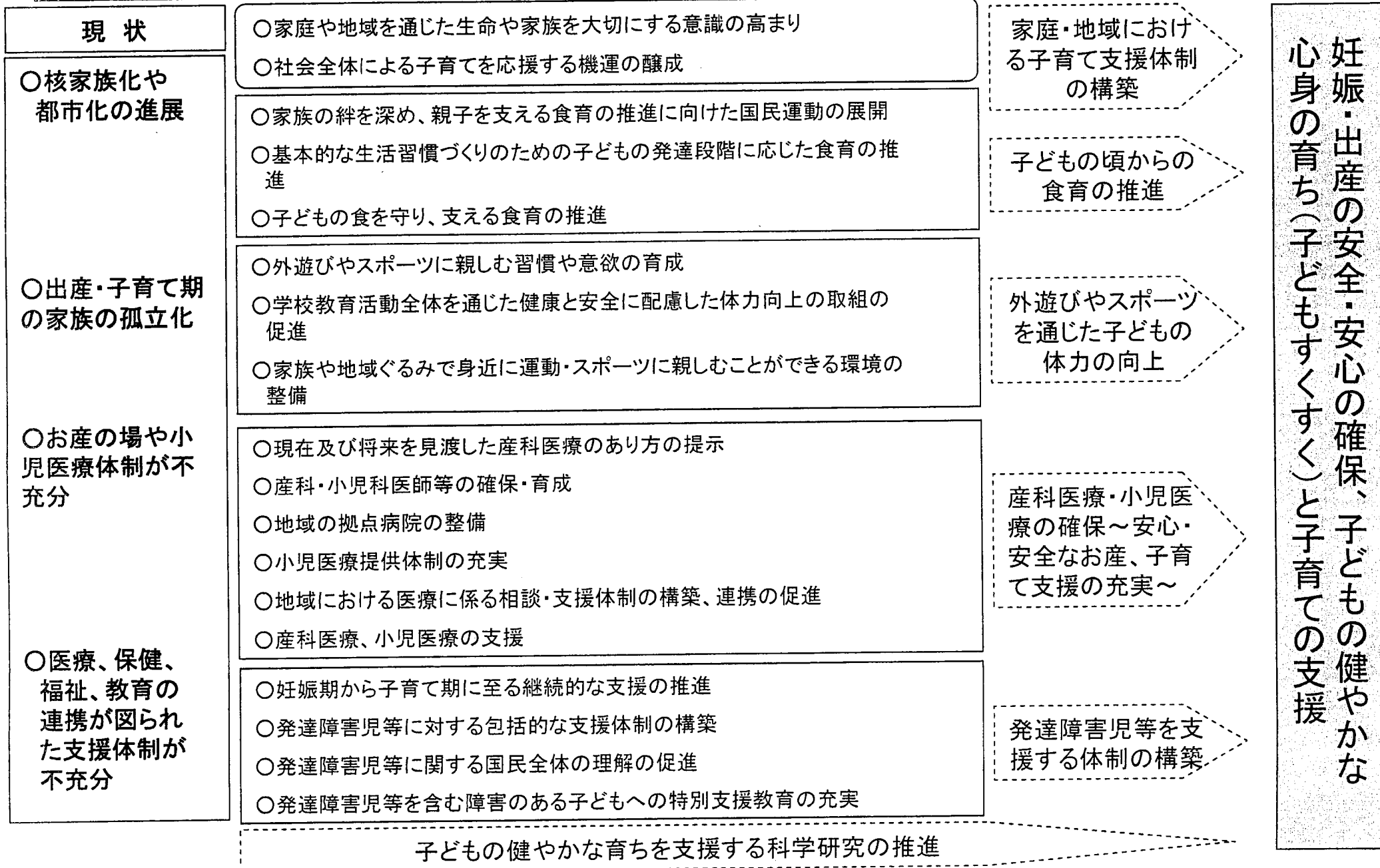


新健康フロンティア戦略 (参考資料)

平成19年4月18日

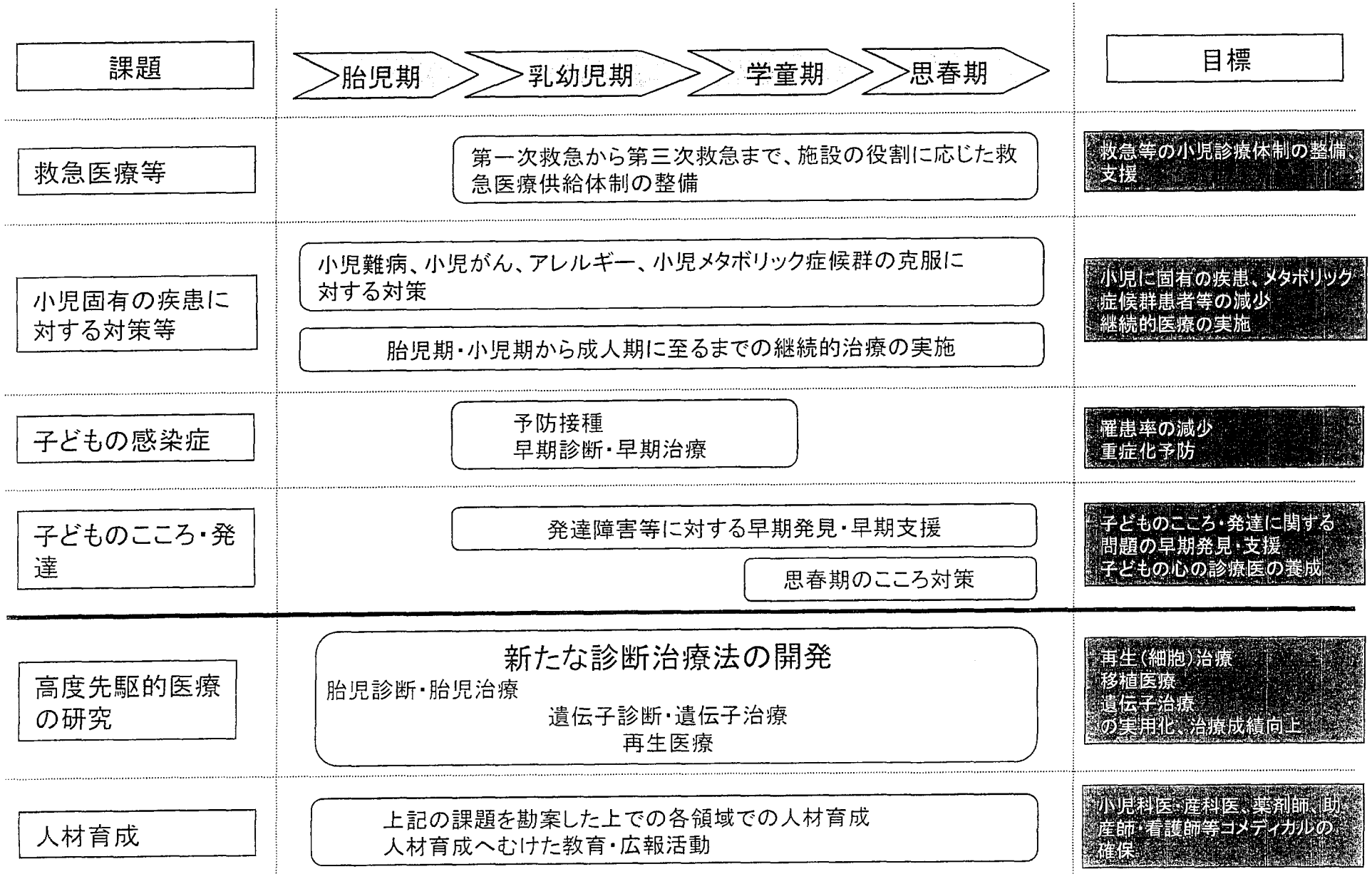
新健康フロンティア戦略賢人会議

子どもの健康力



妊娠・出産の安全・安心の確保、子どもの健やかな心身の育ち(子どもすくすく)と子育ての支援

こども医療未来図



(国立成育医療センター 加藤 達夫総長作成資料を改編)

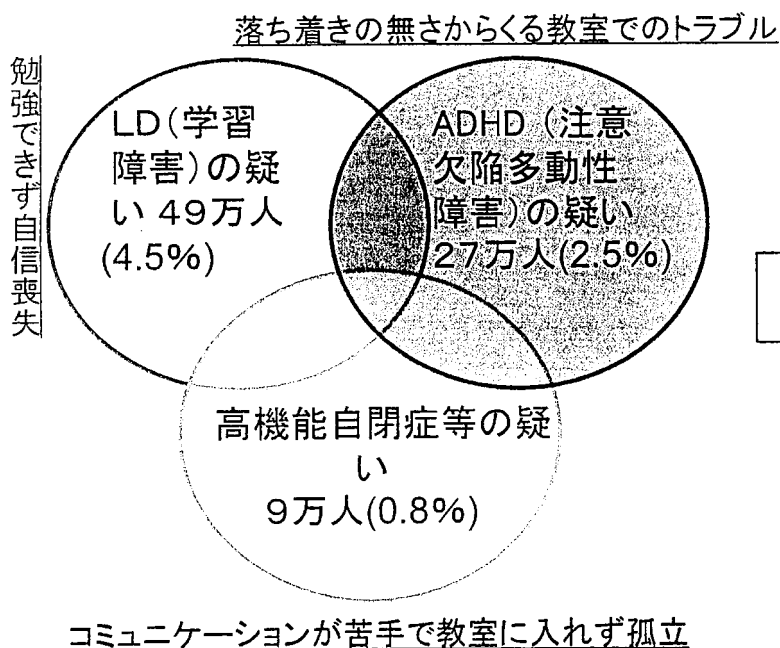
発達障害児の支援のための先端技術の活用

学習に困難を抱える子どもたちの実態(*1)

・小中学生の約6.3%(*2)

→全国の小中学校に約68万人(発達障害の疑い)

○主な発達障害



ニートや非行、不登校、いじめ等との関係も指摘されている

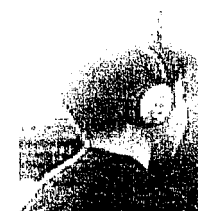
○ユニークな知能の持ち主としての発達障害児

- ・ラテン語と中国語を独学で学ぶ不登校の子ども
- ・勉強はできるが集団に入れず孤立
- ・発想は豊かだが落ち着きがない
- ・IQ120にも関わらず字が書けない6年生の少年
- ・芸術文化の才能が優れている など

○子どもの脳とこころの働きを解明する研究の推進

○発達障害のある子どもの多様化を理解した学習支援方法の開発

- (1) テクノロジーの活用による子どもの能力開発
(例)ノイズキャンセリングヘッドフォン(写真)、読み上げソフト、ワープロの活用 等
- (2) 学習環境の整備によるバリアの解消
(例)教材開発、学習スタイルの多様化
- (3) 障害の理解と就労に結びつく道筋の整備
(例)学習困難の要因診断とテクノロジー適用手法の開発 等



*1 以下の数字は文部科学省「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する全国実態調査(2002年)」より

*2 上記調査の中で、学級担任を含む複数の教員が「知的発達に遅れはないものの、学習面や行動面で著しい困難を持っている」と判断した児童生徒の割合

女性の健康力

新戦略における主な具体的事項

思春期

妊娠・出産期

更年期

老年期

働き盛り期

目標

課題

やせすぎ

骨粗しょう症・
転倒骨折

歯周病・
むし歯

性感染症・人工
妊娠中絶

安心できる
お産

乳がん・
子宮がん

女性のニーズの
高い病気
(更年期障害、
リウマチ等)

「自分のカラダを知ろう」 キャンペーン

- ・健康を守る食に関する知識の普及啓発
- ・過度なダイエットの健康リスクの意識啓発
- ・歯・口の健康づくり
- ・性感染症や人工妊娠中絶の健康リスクの普及啓発
- …等

【個別の介護予防プログラムを受けられる仕組みづくり】

転倒骨折予防プログラムなどの研究

【身近な場所で気軽に情報入手や相談ができる体制の整備／女性のニーズに合った医療の推進】

【ピアカウンセリング(※)等による健康教育】

(※)共通の悩みを抱えるなど価値観を共有する同世代の仲間が相談相手として行うカウンセリング

【周産期医療提供体制の整備】

【女性のがんへの挑戦】乳がんや乳がん・子宮がん検診についての普及啓発／安心して利用しやすい検診体制

【職場内における働く女性の健康への適切な対応の推進】

【地域で気軽に相談できる体制づくり／女性のニーズに合った医療の推進】

女性の健康を支える地域のボランティア活動の支援、女性のニーズに合った医療に関する研究の推進

やせすぎの人でダイエットしている者の割合の減少

転倒骨折を主な原因とする要介護者の割合の減少

12歳児の一人平均う歯数の減少、80歳で20歯以上の歯を有する割合の増加

性感染症の感染率、人工妊娠中絶率の減少

妊産婦死亡率、妊娠・出産について満足している者の割合、産科医療の確保

乳がん検診、子宮がん検診の受診者数を概ね倍増

気軽に健康について相談できる人や場所のある女性の割合の増加

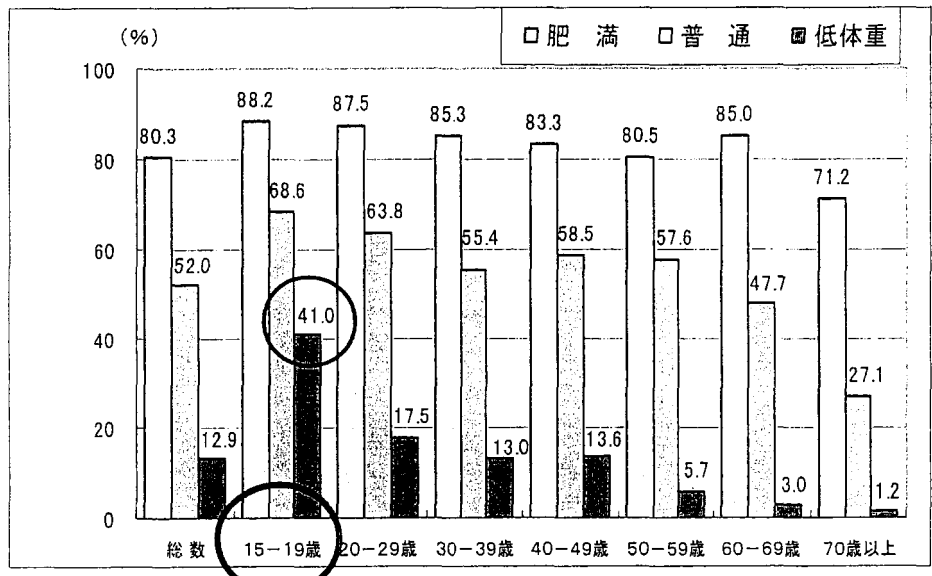


○「やせすぎ」なのにダイエット？健康への影響



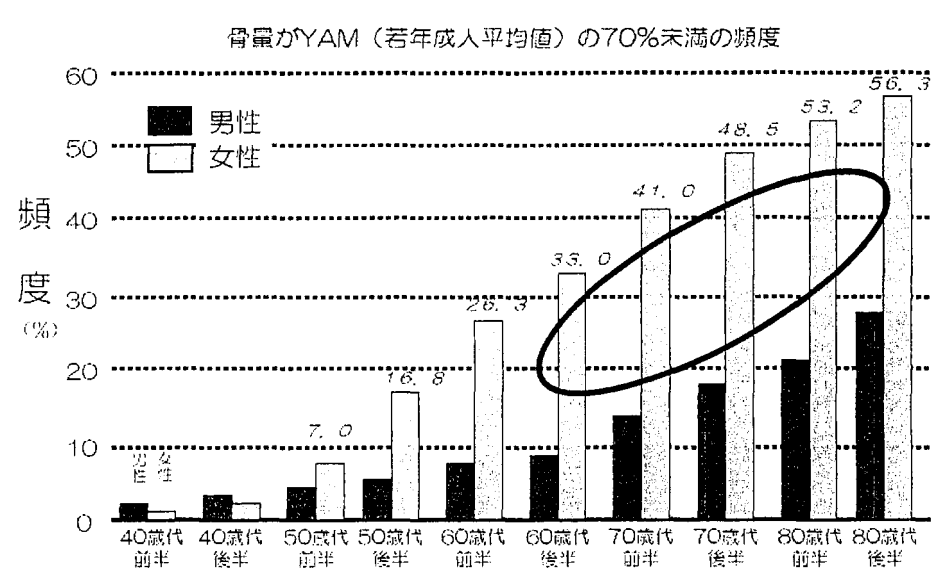
若い女性、特に10代の間で、
 「やせすぎ」にもかかわらずダイエットをしている人が多い
 →骨密度の低下
 →いずれは骨粗しょう症や、転倒に起因して要介護状態に陥ることが多い

体重を減らそうとしている者の体重別割合（女性）



厚生労働省 平成14年国民栄養調査

年代別骨粗しょう症該当者の割合（推定）



山本益雄：Osteoporosis Japan 7:110-111, 1999より

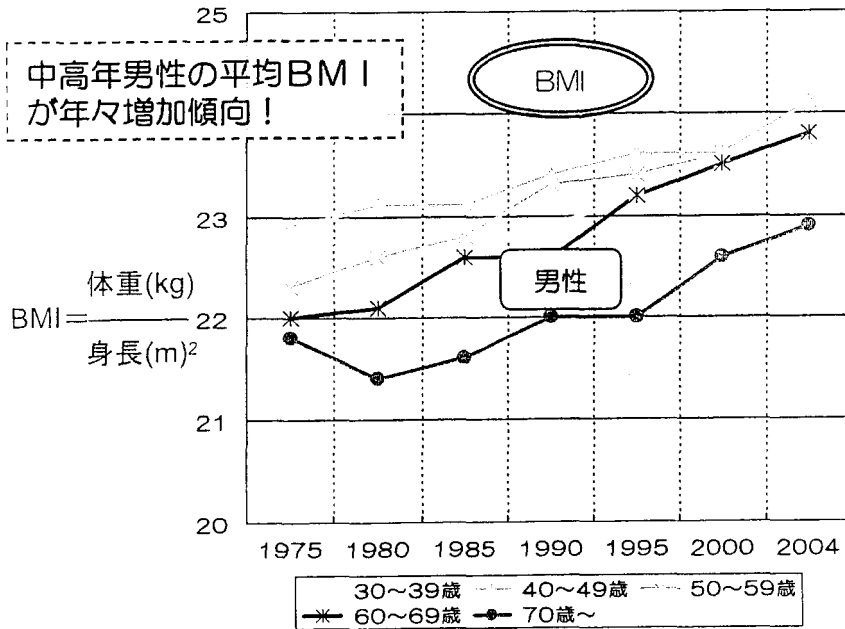


- ・ 骨粗しょう症に関する知識の普及
 - ・ 過度なダイエットの健康リスクの意識啓発
 - ・ 健康を守る食に関する知識の普及啓発 ...等
- (思春期向け)
 「自分のカラダを知ろう」
 キャンペーン

課題

メタボ克服力 (1)

目標



☆「メタボ退治」のための
国民運動の展開・健康関連産業の育成

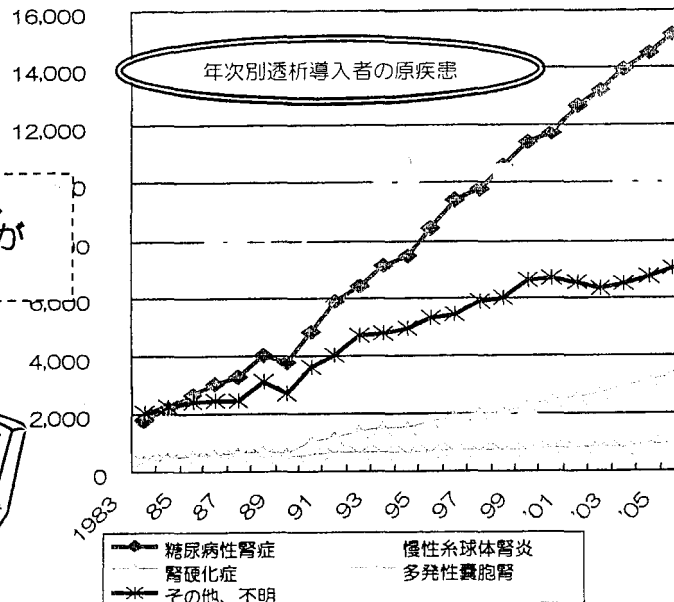
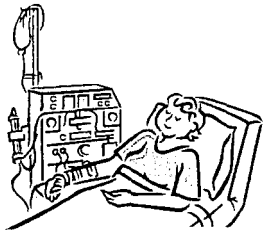
☆「テラーメイド予防」に関する
研究開発と普及によるメタボの人の減少!

糖尿病の発生率を減らします!

テラーメイド予防
個人の遺伝素因等にも配慮したテラーメイド的な予防



新規透析の原因で、
糖尿病によるものが第一位に!



☆「テラーメイド予防・治療」
のための司令塔づくりを進める!

☆「テラーメイド治療」の
ための司令塔づくりを進め、
その研究開発・普及による
合併症発症の防止!

**脳卒中
心疾患
による死亡を減らします!**

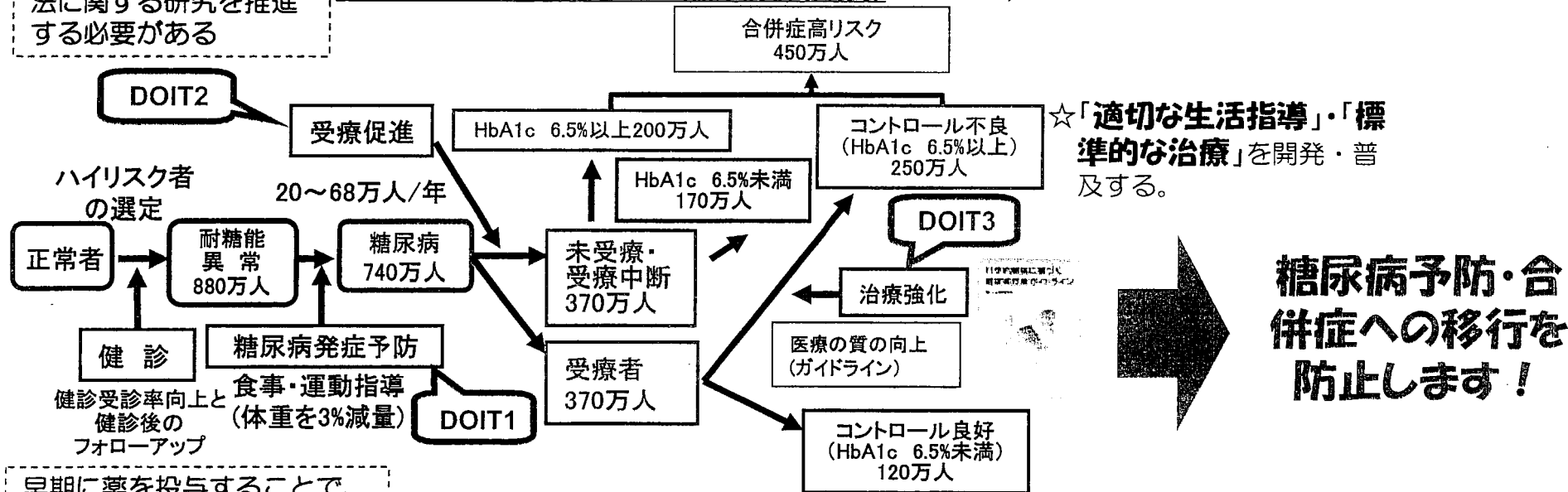
課題

糖尿病の予防治法・治療法に関する研究を推進する必要がある

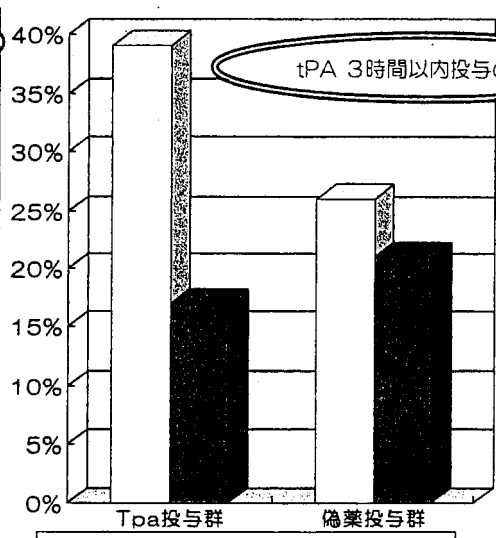
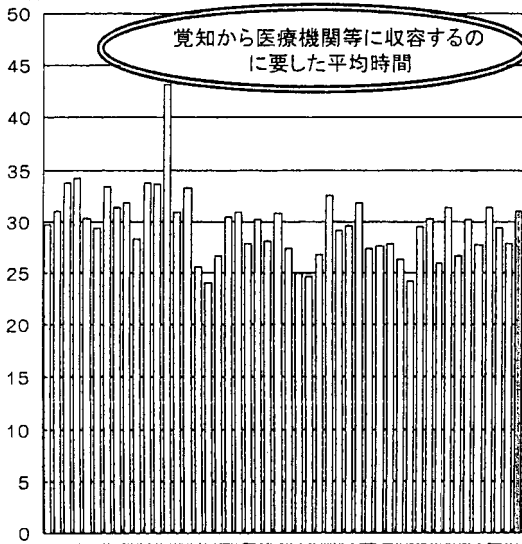
メタボ克服力 (2)

目標

糖尿病のステージに応じた糖尿病の予防治法・治療法の開発 J-DOIT (糖尿病戦略研究) (J-DOIT: Japan Diabetes Outcome Intervention Trial)

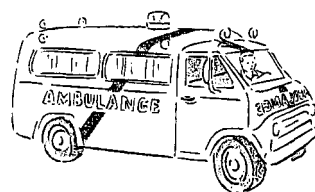


早期に薬を投与することで、脳卒中後の後遺症等が減少！



☆「発症⇒即、専門治療」ができる体制の整備を推進し、「亡くならない」「後遺症を残さない」！

tPA (組織性プラスミノーゲン活性化因子) →血管に詰まった血栓を溶かす薬



脳卒中が原因で要介護状態となる割合を減らします！

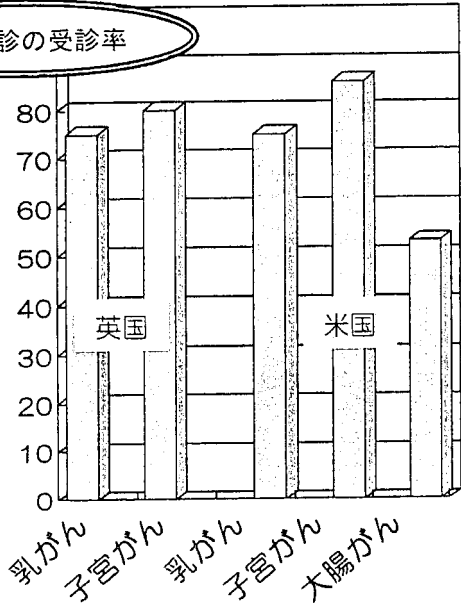
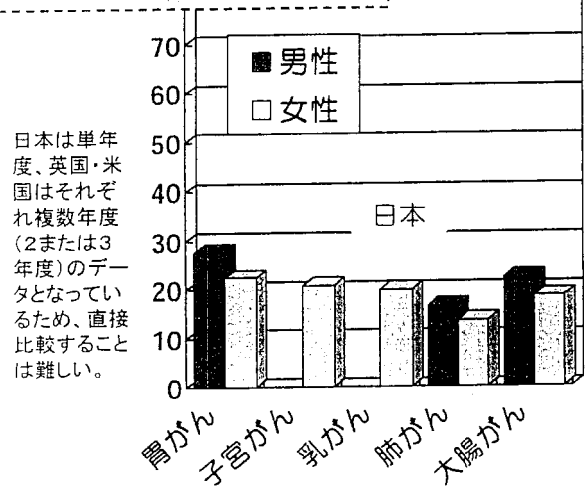
図表: 新健康フロンティア戦略賢人会議 第3分科会資料より一部改変

課題

がん克服力

目標

欧米と比較して、
がん検診の受診率が低い

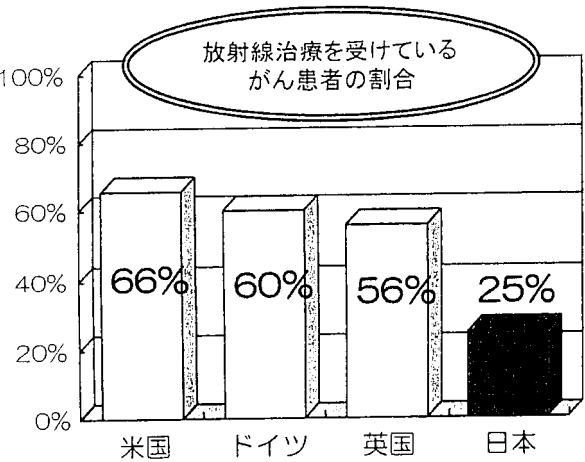


☆ 検診受診率向上
を目指し、
がんの早期発見を
推進!

「安心・身近な」
がん検診を
すすめます!

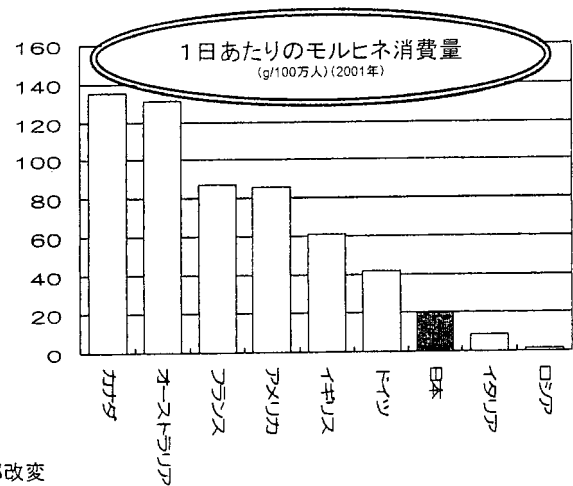


欧米と比較して、
・放射線治療を受けている患者
・医療用麻薬の消費量が少ない

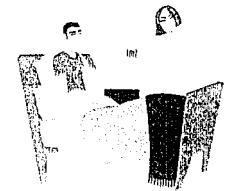


☆ 放射線治療、
除痛、緩和ケア
などの普及で、
手術中心の治療から
集学的治療への転換!

どこでも誰にも
「スタンダード
(標準的な)治療」
を目指します!



集学的治療
手術、放射線療法、化学療法
などの専門的な治療を組み合
わせて提供する治療



がん拠点病院
等の整備を推進
します。

がん拠点病院
地域がんの治療等の中核とな
る病院

図表: 新健康フロンティア戦略賢人会議 第3分科会資料より一部改変